

市美だより

鹿児島市立美術館 | KAGOSHIMA CITY MUSEUM OF ART

発行 鹿児島市立美術館
〒892-0853
鹿児島市城山町4番36号
TEL(099)224-3400



● 展示会の会期等はすべて、新型コロナウイルス感染症の地域の感染状況により変更になる場合があります。詳しくは美術館ホームページでご確認ください。

無料開放日のお知らせ

毎月第3日曜日は、小・中学生は無料開放日です。所蔵作品展 + 小企画展を無料で鑑賞いただけます。
6月20日(日)、7月18日(日)...

予告

スイス・パレ美術館展

フランス近代絵画の贈り物

会期
7月23日(金)祝～9月5日(日)



ピエール＝オーギュスト・ルノワール
《詩人アリス・ヴァリエール＝メルツバッハの肖像》
1913年、油彩・カンヴァス
ASSOCIATION DES AMIS DU PETIT PALAIS, GENEVE

令和3年度、夏の特別企画展は、「スイス・パレ美術館展」を開催します。

スイスのジュネーブにあるプチ・パレ美術館は、オスカー・ゲーズ氏が収集したフランス近代絵画をコレクションする美術館です。ルノワール、ヴラマンク、ユトリロなど38作家による、印象派からエコール・ド・パリ

までの油彩画65点を展示します。日本で30年ぶり、鹿児島では初の珠玉のコレクション展をお楽しみに。

※ マスクの着用にご協力ください。



所蔵品にちなんだ小企画展

描かれた装い

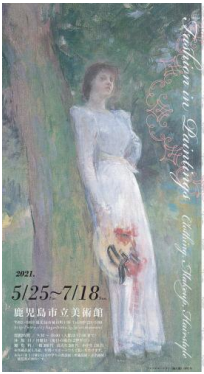
絵のなかのファッションとヘアメイク

会期
5月25日(火)～7月18日(水)

観覧料
小中生150円、高大生200円、一般300円

※ 観覧料は所蔵品展と共通。年間パスポートでもご覧いただけます。

※ 毎月第3日曜日は小中生の常設展(所蔵品展・小企画展)観覧料が無料です。



絵画を見ているとき、描かれた人物の服装やメイク、髪型などの「装い」に目がいくことはありませんか？本展では様々な絵画やポスターにみられる「装い」に注目し、作品が描かれた当時のどのような世の中であったか作品をとらえてご紹介いたします。

作品介绍

ラエル・コラン 《令妹の像》

1879年頃、油彩・キャンバス
縦53.9×横41.6cm
鹿児島市立美術館蔵



コランは19世紀後半のフランスで活躍し、優美な女性像を得意としました。一方、自然への憧れが高まりました。また、当時フランスでは、画家たちが新たな挑戦をしていました。それまで人物画は主

初夏の所蔵品展(西洋美術+郷土作家+特集コーナー)

特集：没後100年 橋口五葉①画業のはじまりー「五葉」誕生

会期：6月1日(火)～8月9日(月・振休)

常設展示室では、初夏の所蔵品展として、印象派から現代までの西洋美術と郷土作家を中心とした近代以降の日本美術の所蔵品をご紹介します。今回からはじまる所蔵品展の特集コーナーでは、今年、生誕140年/没後100年を迎える郷土出身の橋口五葉につ

いて、来年5月までの1年間、その画業を5つのテーマでご紹介します。1881(明治14)年に鹿児島市で生まれた橋口五葉は、日本画・洋画・デザインと幅広く活動し、夏目漱石らの装幀を手がけたことでも知られています。

シリーズ最初となる初夏の所蔵品展では、鹿児島での幼少期から東京美術学校時代、夏目漱石との出会いまでに焦点を当て、鹿児島が誇るマルチ・アーティスト「五葉」のはじまりを紹介します。



橋口五葉
『I AM A CAT』(夏目漱石著)

● に室内を背景に描かれましたが、屋外で太陽の光を受けたり生き生きとした姿を描こうとしたのです。19世紀は暮らしが近代化し便利になりました。一方、自然への憧れが高まりました。また、チューブ入り絵具が発明され、屋外で絵を描くことも可能になりました。木々に囲まれ読書する女性はコランの妹です。この作品はコランが初めて屋外を舞台に描いた人物画の習作と考えられます。習作のためおおまかな筆づかいで素早く描かれ、光や風を感じられるようです。背景の濃く暗い緑色が白いドレスを引き立てています。作品名の「令妹」という敬称が不思議ですね。実はこの作品、美術館に収蔵される前はコランの弟子であった鹿児島出身の画家、黒田清輝が持っていました。フランスから帰国する際に師匠からいただいたのでしょう。黒田はコランに学んだ描き方を日本に広め、日本の画家たちも光あふれる明るい絵を描くようになりました。 ※小企画展「描かれた装い」にて展示中!